



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3023 URL <https://www.rasaco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 桜木 和陽 (TEL) 03(3668)8231  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,880	△7.1	1,264	△32.5	1,454	△27.0	954	△31.8
2023年3月期第3四半期	21,409	△3.5	1,872	31.1	1,993	26.4	1,400	23.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,027百万円(△24.2%) 2023年3月期第3四半期 1,356百万円(22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	85.09	—
2023年3月期第3四半期	121.00	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	31,010	20,327	65.6
2023年3月期	31,920	20,100	63.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 20,327百万円 2023年3月期 20,100百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	29.00	—	39.00	68.00
2024年3月期	—	34.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△2.2	2,400	△15.9	2,600	△12.9	1,950	△7.8	173.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	11,983,838株	2023年3月期	11,983,838株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	734,252株	2023年3月期	802,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	11,217,626株	2023年3月期3Q	11,574,051株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
3. 参考情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束とともに社会経済活動の正常化が進むなか、回復途上にある個人消費や堅調な企業業績等に支えられ、持ち直しの動きが続いております。しかしながら、ウクライナ情勢等の影響による原材料価格の高騰や人件費の上昇等を背景に物価高が急速に進行しているほか、中国経済の減速など海外景気の下振れリスクもあり、企業活動を取り巻く環境は依然として不透明な状況となっております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までの3か年を計画期間とする新中期経営計画「“Resilience” Rasa 2024 ～再生から飛躍へ～」を策定し、グループ・ガバナンスの確立を最重要課題と位置づけ、グループの連携をさらに強固なものとしつつ、更なる飛躍を目指し、持続的な企業価値向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、資源・金属素材関連、プラント・設備工事関連、化成品関連が減収となったことを受けて198億80百万円となり、前年同四半期と比べ15億29百万円(△7.1%)の減収となりました。

利益につきましては、営業利益は12億64百万円となり、前年同四半期と比べ6億8百万円(△32.5%)の減益となりました。経常利益は14億54百万円となり、前年同四半期と比べ5億38百万円(△27.0%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は9億54百万円となり、前年同四半期と比べ4億45百万円(△31.8%)の減益となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、当社取り扱い原料の需要が低迷したことなどから、関連部門の売上高は50億92百万円となり、前年同四半期と比べ11億21百万円(△18.1%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は3億34百万円となり、前年同四半期と比べ2億66百万円(△44.4%)の減益となりました。

産機・建機関連では、民間企業の安定した設備稼働を背景に、主力ポンプ関連は上半期の好調を維持しました。一方、掘進機関係など苦戦している商品も見られますが、全体的には堅調であったことにより、関連部門の売上高は66億83百万円となり、前年同四半期と比べ7億59百万円(12.8%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は7億96百万円となり、前年同四半期と比べ2億21百万円(38.6%)の増益となりました。

環境設備関連では、民間企業向けピストンポンプ案件が一巡したものの、官庁及び民間共に整備需要が堅調に推移いたしました。さらに、水砕関連についても製鉄所向けコークス炉周辺機器用制御部品の販売が寄与したことから、関連部門の売上高は13億27百万円となり、前年同四半期と比べ72百万円(5.8%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は1億94百万円となり、前年同四半期と比べ37百万円(23.6%)の増益となりました。

プラント・設備工事関連では、大型工事の進捗が計画を下回ったことにより、関連部門の売上高は19億24百万円となり、前年同四半期と比べ6億53百万円(△25.3%)の減収となりました。また、売上減収及び想定外の原価の発生により、セグメント損失は3億12百万円(前年同四半期は2億66百万円の利益)となりました。

化成品関連では、自動車分野で受注が回復しつつあるものの、電線分野、建材分野での需要低迷が続いていることから、関連部門の売上高は46億66百万円となり、前年同四半期と比べ5億86百万円(△11.2%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は1億3百万円となり、前年同四半期と比べ7百万円(△6.8%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸ビルの満室を維持できたことから、関連部門の売上高は2億77百万円となり、前年同四半期と比べ0百万円(0.1%)の増収となりました。一方で、修繕費、租税公課、減価償却費などが増加したことから、セグメント利益は1億46百万円となり、前年同四半期と比べ6百万円(△3.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は310億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億10百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は179億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億5百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で14億86百万円の減少等があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は130億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億95百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券で2億48百万円の増加等があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は78億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億25百万円の減少となりました。

これは主に、未払法人税等で4億87百万円、短期借入金で4億円の減少等があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は28億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億12百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で2億70百万円の減少等があったことによるものです。

(純資産)

純資産は203億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億27百万円の増加となりました。

これは主に、剰余金の配当で8億51百万円の減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益で9億54百万円を計上したこと、その他有価証券評価差額金で80百万円の増加等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日付の2023年3月期決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,532	4,045
受取手形、売掛金及び契約資産	8,939	7,762
電子記録債権	1,695	1,757
商品及び製品	2,621	3,815
未成工事支出金	119	136
原材料及び貯蔵品	8	7
その他	177	463
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,093	17,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,459	4,457
減価償却累計額	△2,836	△2,900
建物及び構築物（純額）	1,623	1,556
機械装置及び運搬具	460	459
減価償却累計額	△433	△433
機械装置及び運搬具（純額）	26	26
土地	6,000	6,000
その他	1,641	1,601
減価償却累計額	△1,591	△1,538
その他（純額）	49	62
有形固定資産合計	7,700	7,646
無形固定資産		
ソフトウェア	183	138
その他	0	0
無形固定資産合計	183	138
投資その他の資産		
投資有価証券	3,479	3,727
退職給付に係る資産	35	31
繰延税金資産	148	142
保険積立金	1,126	1,186
その他	161	155
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,943	5,237
固定資産合計	12,826	13,021
資産合計	31,920	31,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,565	2,224
電子記録債務	1,493	2,025
工事未払金	199	272
短期借入金	2,100	1,700
1年内返済予定の長期借入金	490	539
未払法人税等	597	109
契約負債	139	227
賞与引当金	353	158
工事損失引当金	121	64
その他	607	520
流動負債合計	8,667	7,841
固定負債		
長期借入金	2,414	2,143
繰延税金負債	312	322
退職給付に係る負債	29	16
役員株式給付引当金	177	126
その他	219	230
固定負債合計	3,152	2,840
負債合計	11,820	10,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	1,837	1,837
利益剰余金	16,689	16,792
自己株式	△702	△651
株主資本合計	19,901	20,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201	282
繰延ヘッジ損益	△2	△9
その他の包括利益累計額合計	199	272
純資産合計	20,100	20,327
負債純資産合計	31,920	31,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	21,409	19,880
売上原価	16,457	15,575
売上総利益	4,952	4,304
販売費及び一般管理費	3,080	3,040
営業利益	1,872	1,264
営業外収益		
受取利息及び配当金	27	35
持分法による投資利益	109	143
その他	18	29
営業外収益合計	155	208
営業外費用		
支払利息	18	15
保険解約損	6	-
その他	8	2
営業外費用合計	34	18
経常利益	1,993	1,454
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	-	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	1,993	1,449
法人税等	592	495
四半期純利益	1,400	954
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,400	954



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,400	954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	80
繰延ヘッジ損益	△50	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△43	73
四半期包括利益	1,356	1,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,356	1,027
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	5,268	4,885	1,251	2,577	5,034	—	19,017
アジア	904	658	1	—	193	—	1,758
その他	40	378	2	—	25	—	446
顧客との契約から 生じる収益	6,214	5,923	1,255	2,577	5,253	—	21,223
その他の収益	—	—	—	—	—	186	186
外部顧客への売上高	6,214	5,923	1,255	2,577	5,253	186	21,409
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	91	91
計	6,214	5,923	1,255	2,577	5,253	277	21,501
セグメント利益	601	574	156	266	111	153	1,863

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,863
セグメント間取引消去	8
その他	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,872

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	4,267	5,722	1,327	1,924	4,402	—	17,644
アジア	812	433	—	—	200	—	1,447
その他	11	527	—	—	62	—	601
顧客との契約から 生じる収益	5,092	6,682	1,327	1,924	4,666	—	19,693
その他の収益	—	—	—	—	—	186	186
外部顧客への売上高	5,092	6,682	1,327	1,924	4,666	186	19,880
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	91	92
計	5,092	6,683	1,327	1,924	4,666	277	19,972
セグメント利益 又は損失 (△)	334	796	194	△312	103	146	1,262

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,262
セグメント間取引消去	1
その他	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,264

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

3. 参考情報

個別業績の概要

2024年3月期第3四半期の個別業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,103	△2.2	1,324	△0.6	1,474	△5.1	1,036	△8.7
2023年3月期第3四半期	13,392	11.8	1,332	134.2	1,552	134.5	1,135	126.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	91.65	—
2023年3月期第3四半期	97.29	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	20,335	15,172	74.6
2023年3月期	20,905	14,886	71.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 15,172百万円 2023年3月期 14,886百万円